



食農の次世代を見据えたプロ養成講座



12年間の食Pro.制度推進の関わりから、食農ビジネス分野の発展の経緯を知る食Pro.事務局が主体者となり、先進的な取組や知見を有する実践者、新たな取組にチャレンジする事業者を講師に迎え、当該分野や領域の次世代を見据えたプロフェッショナルを育成します。

受講者の想定

- **食Pro. レベル段位認定者**
- **事業者さま・法人さま**（食農ビジネス部門スタッフの社内研修の一環として利用）
- **食農ビジネス分野で更なるノウハウやスキルを身に着けたい方** など

【期 間】 2023年 9月～2024年 4月（全8回）

リモート(Zoom) 6回、対面ワーク 2回 ※詳しくはスケジュールをご確認ください。

【受講料】 ●食Pro.レベル段位認定者 : 33,000 円（税込み）

●一般（認定者以外） : 99,000 円（税込み）

※第1回のみ11,000円（税込み）にてお試しでの参加が可能です。その後、定員に空きがあり、第2回以降の養成講座に参加をご希望の場合は、追加で正規受講料をお支払いいただきます。

プロとして、
次の戦略を
実現する！

【定 員】 先着 20 名限定（最低開催人数 8 名）

申し込み方法

- 下記のサイト内に申し込みフォームを設置しますので、フォームに沿って申し込みください。定員になり次第、受付を終了いたします。

● **申込期間：2023年7月3日（月）～8月31日（木）**

URL：<https://ws.formzu.net/dist/S903611993/>

申込フォームはQRコードからもアクセス可能です。



問い合わせ先

食Pro.事務局 プロ養成講座

担当：柄澤（からさわ）、藤井（ふじい） E-mail：info@facp.or.jp

主催：食Pro.事務局：一般社団法人食農共創プロデューサーズ

協力：株式会社パソナ農援隊、株式会社ファーマーズ・フォレスト、株式会社舞台ファーム、一般社団法人食品需給研究センター

- 2011年、将来の地域食農ビジネスを担う人材の育成 と 食農ビジネス分野の実践者や支援者、さらには分野をリードする人材を対象に、知識・実践的スキルを客観的に評価する検定制度として「食Pro.制度」は、実践キャリアアップ戦略・国家戦略プロフェッショナル検定として誕生しました。
- 制度開始から12年を経て、2023年5月現在、全国 128機関が研修プログラムの認証を受けるとともに、高校生からプロフェッショナルに至る 7,392人の段位認定者が輩出されています。
- 食Pro.制度を進めて来た12年の間には、農商工等連携や6次産業化、地方創生などの進展により地域食農ビジネスの浸透と一般化が大いに進みました。
- しかし、一方では、グローバル化に伴う食糧確保や食料安全保障、エネルギーや原材料・商品価格の高騰、世界経済における日本のプレゼンスの低下、雇用創出や人材確保、SDGsに代表される環境負荷の低減や多様性、IT、IoT、ICTの利活用、ジェンダーやダイバーシティへの対応など、新たな実践的スキルを身に着け、これからの食農ビジネスを推進して行くための人材の育成と確保が特に重要です。
- 食Pro.制度では、これまでの地域における農林水産業や食品産業および食農ビジネスを基盤に、次なる展開を見据えた知識の習得、習得した知識の自身が行う業務への落とし込みによる実践的スキルの構築を目的に、趣旨にご賛同いただく各事業者さまとの連携により、「国家戦略プロフェッショナル検定 食の6次産業化プロデューサー（食Pro.）制度 食農の次世代を見据えたプロ養成講座」を開講いたします。

留意事項

〈食Pro.段位認定との関係性〉

- 養成講座の受講は、食Pro.制度におけるプロ級（レベル4、レベル5）の段位認定を保証するものではありません。

養成講座をつうじてプロ級審査に向けた考え方やノウハウ・スキルの向上を図ってください。

〈講座受講に係る事務的事項〉

- ZOOM接続環境が必要です。

各自、受講されるPC等の環境設定（画面・音声オン対応）をご準備ください（通信に係る費用は、各自ご負担ください）。

- 受講料は全8回の金額となり、入金確認後、参加証を発行いたします。

講座はスケジュールに従い実施しますので基本的には全8回のご出席をお願いいたします。

なお、講座では特に修了要件は設けていませんので、受講したい回のみのお出席を可とします。また、受講者専用に講義の見逃し配信等のアーカイブもご用意いたします（Zoom開催分のみ）。

- 本講座の修了要件は定めません。

事前準備の実施と講座終了後の宿題を案内しますが、講師等が評価をするものではなく、修了要件ではありません。各々自己研鑽のつもりで取り組んでください。修了証の発行もありません。

開催スケジュール 1

日時	講義・研修の内容
<p>第1回 9月12日（火） 13:30～15:30 背景理解 〈Zoom開催〉</p>	<p>次世代を見据えた食農ビジネス人材の必要性</p> <p>養成講座を実施する社会的背景等の理解を目的に、変容する社会と食農分野の将来想定を政策系シンクタンクの観点から解説いただく、農業分野のスタートアップの取組およびその支援者となるアクセラレーターの活動などを参考情報として紹介いただきます。</p> <ul style="list-style-type: none">●フードシステムの課題とこれからの方向性（60分） 稲垣 公雄氏 株式会社三菱総合研究所 食農分野担当本部長 VCPマネージャー（全社連携事業推進本部） （食農共創プロデューサーズ 理事）●農業分野のスタートアップとアクセラレーター（60分） 荻野 浩輝氏 一般社団法人 AgVenture Lab 代表理事 <p>* 第1回の講座は、養成講座に参加するための背景理解を促す目的で、食Pro.制度で実施される「プロ級段位認定者の更新研修」の一部を聴講いただきます。</p>
<p>第2回 9月30日（土） 10:00～12:00 キックオフ 〈Zoom開催〉</p>	<p>次世代を見据えた食農ビジネス人材と食Pro.制度</p> <p>講座で習得する知識とグループワーク等の実践により高める実践的スキルについて、本講座各回の目的と狙い、食Pro.段位認定申請に係る申請項目との連動性等について解説します。</p> <p>また、後段では受講者の自己紹介と将来像など受講者どうしの新たな関係性構築を目的としたフリートークを行います。</p> <ul style="list-style-type: none">●これからの食農ビジネス分野に必要とされる視点（30分） 長谷川 潤一 食農共創プロデューサーズ 代表理事●受講者自己紹介とこれからの食農ビジネス・自身の将来像（90分）
<p>第3回 10月28日（土） 10:00～12:00 知識習得(1) 新たなチャレンジのための工夫と理念① 〈Zoom開催〉</p>	<p>食農ビジネス分野に係る新たな視点・新たなコンテンツ</p> <p>社会的課題や解決の一助となる先進的なテーマのうち、サステナブルデベロップメントとIT、IoT、ICTをフォーカス、その考え方や取組の実践事例等を解説するとともに、講師との意見交換を行います。</p> <ul style="list-style-type: none">●ゼロウェイスト・循環型社会形成と食農ビジネスの可能性（45分） ～徳島県上勝町の取組と次なる社会課題の解決～ 小林 篤司氏 BIG EYE COMPANY共同代表 （食農共創プロデューサーズ アソシエイトスタッフ）●食農ビジネスにおけるDX利用の現状と方向性（45分） 中尾 克代氏 株式会社DX経営研究所 代表●ディスカッション：本日の講義内容に関する質疑と意見交換（30分） <p>* 受講者には事前準備の実施と講座終了後の宿題をご案内します。</p>

開催スケジュール2

日時	講義・研修の内容
<p>第4回 11月25日(土) 10:00~12:00 知識習得(2) 新たなチャレンジのための工夫と理念② <Zoom開催></p>	<p>フードチェーンの変革、新たなコンテンツへの挑戦</p> <p>サステナブルデベロップメントとIT、IoT、ICTをフォーカスし、異分野から食農ビジネス分野に参画し、事業活動を展開する実践者を講師に招き、取組の実践事例等を解説するとともに、実践者個人として当該領域に対する思いや将来像への期待についてお話しいただきます。</p> <ul style="list-style-type: none">●サステナブルデベロップメントと食農ビジネス(45分) 田口 沙緒理氏 いちご株式会社 サステナブルインフラ事業本部 農業支援部●IoTの利活用による効率と効果向上の未来(45分) 梅原 正教氏 京セラ株式会社 通信ビジネスソリューション研究開発部●ディスカッション：本日の講義内容に関する質疑と意見交換(30分) <p>* 受講者には事前準備の実施と講座終了後の宿題をご案内します。</p>
<p>第5回 12月16日(土) 10:00~12:00 知識習得(3) 現場の着想とビジネスを創出するための熱量① <Zoom開催></p>	<p>食農ビジネスの多様化を現場視点から捉える①</p> <p>社会の変化に対応し、食農を基盤に多様化ビジネスを創出してきた主体者を講師に招き、ビジネス創出に資する着想や実践力、理念や熱意等について解説します。</p> <ul style="list-style-type: none">●地域資源を駆使した農業の多様化と可能性(45分) 伊藤 啓一氏 株式会社舞台ファーム 専務取締役 (食農共創プロデューサーズ 会員)●地域商社の発展と次なる視点(45分) 松本 謙氏 株式会社ファーマーズ・フォレスト 代表取締役社長 (レベル5 段位認定者、レベル認定委員、食農共創プロデューサーズ理事)●ディスカッション：本日の講義内容に関する質疑と意見交換(30分) <p>* 受講者には事前準備の実施と講座終了後の宿題をご案内します。</p>
<p>第6回 1月13日(土) 10:00~12:00 知識習得(4) 現場の着想とビジネスを創出するための熱量② <Zoom開催></p>	<p>食農ビジネスの多様化を現場視点から捉える②</p> <p>社会の変化に対応し、食農を基盤に多様化ビジネスを創出してきた主体者を講師に招き、ビジネス創出に資する着想や実践力、理念や熱意等について解説します。</p> <ul style="list-style-type: none">●食農ビジネスをドライブするための、現場と本部のチームの作り方(45分) 榊かおる氏 株式会社良品計画 食品部 食と農担当 カテゴリーマネージャー●習得した知識を自身の取組に活かすための実践的スキル(30分) 長谷川潤一 食農共創プロデューサーズ 代表理事●ディスカッション：本日の講義内容に関する質疑と意見交換(45分) <p>* 受講者には事前準備の実施と講座終了後の宿題をご案内します。</p>

開催スケジュール3

日時	講義・研修の内容
<p>第7回 2月17日(土) 10:30～16:30 グループワーク・パーソナルワーク講座 (リアル開催)</p> <p>* 株式会社 パソナ農援隊 との連携開催 【開催場所】 パソナ農援隊東京 本社 東京都港区南青 山三丁目1番30号</p>	<p>次世代の食農ビジネス組成に向けたプロフェッショナル実践研修①</p> <p>習得してきた知識に対し、食農ビジネスの現場でプロジェクトを組成することや戦略立案すること、組成したプロジェクトを持続的に回して行くことを、先行する実践者を講師に招き、そのノウハウやプロセス、テクニック等を学ぶとともに、受講者自身が関わる取組への反映に向けた検討を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ビジネスの実現と持続形成のためのノウハウ・スキル・テクニック (60分) 鈴木 裕己氏 株式会社プロ・スパ 代表取締役 (食Pro.レベル認定委員、レベル5 段位認定者) ● 習得した知識の実践的スキルへの反映 (30分) 食Pro.事務局 ● 実施計画・支援計画立案 (ワークミッション) ファシリテーターの指示によりグループワークやパーソナルワークを実施 (ファシリテーター) 鈴木 裕己氏、小林 篤司氏、長谷川 潤一 藤井 貴之 (食農共創プロデューサーズ 事務局長) ほか <p>* 受講者には講座終了後、最終回に行うプレゼンテーションの資料作成の宿題をご案内します。</p>
<p>第8回 4月13日(土) 10:30～17:30 プレゼンテーション (リアル開催)</p> <p>* 株式会社 パソナ農援隊 との連携開催 【開催場所】 同上</p>	<p>次世代の食農ビジネス組成に向けたプロフェッショナル実践研修②</p> <p>習得した知識とスキルのプレゼンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 受講者プレゼンテーションとブレインストーミング (10:30～15:30) (アドバイザー) レベル認定委員、認定審査員、 食Pro.プロ級段位認定者、本講座の講師等 ● 食農ビジネス人材の次なる展開への期待 (45分) ～食農ビジネス等に係る各種取組紹介も含め～ 株式会社パソナ農援隊 ● 食Pro.レベル4、レベル5 申請書への反映 (30分) 食Pro.事務局 <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 各種連携企業および食Pro.関係者との交流会開催 (17:30～)

講師等の紹介



第1回講師
稲垣 公雄氏

株式会社三菱総合研究所食農分野
担当本部長、VCPマネージャー
(全社連携事業推進本部)

関西センター長、ものづくり事業革新センター長、経営イノベーション本部副本部長を経て、2021年より食農分野担当本部長。金融機関や製造業、サービス業でのコンサルティング経験を農業分野の社会課題解決につなげるべく、事業改革や組織のマネジメント改革、事業創出に従事。



第1回講師
荻野 浩輝氏

一般社団法人 AgVenture Lab
代表理事

Fintech、AI、PRAの活用による組織のデジタルイノベーションや新規事業創造、職員のオープンイノベーションへのマインドチェンジの取組などの責任者を務める。併せて、2019年5月に設立されたJAグループのイノベーションラボ「AgVenture Lab」の代表理事を務める。



第3回講師
小林 篤司氏

BIG EYE COMPANY共同代表

SDGs / サークルエコノミー分野で上勝町のゼロ・ウェイストブランド化に取り組む、平成23年上勝町地職住推進機構の設立準備室長として町役場に勤務、平成24年独立法人化。環境（エコ・エシカル）分野の知見もあり、企業連携を進め様々なネットワークを有する。



第3回講師
中尾 克代氏

株式会社DX経営研究所 代表

熊本県庁企画開発部、電子機器メーカーを経て、2010年創業。農業者、中小企業、JAのIT導入、ビジネスモデル変革、マーケティング、DX推進を伴走型で支援。中小企業庁の経営革新等認定支援機関として事業再構築や事業計画立案を多数実施。



第4回講師
田口 沙緒理氏

いちご株式会社
サステナブルインフラ事業本部
農業支援部

不動産を基盤に地域との連携でサステナブルなインフラ整備を行う企業に勤務し、地域での農業支援を実施。農業者への農場賃貸や食品事業者への加工場提供のほか、自社が有するショッピングモールや観光施設やホテルとの連携により地域の総合的な支援を展開。



第4回講師
梅原 正教氏

京セラ株式会社 横浜事業所
通信ビジネスソリューション
研究開発部 第3開発部 第2開発課

IoTの各種産業利用に向けた企画開発など、多くのソリューション事業を開発マネージャーとして展開。様々なIoT機器やWebサービスをモジュール化し、ユーザーの「あったらいいな」を実現する一般社団法人ifLinkオープンコミュニティに参加し、地域の子供たちにIoT利用などを教える活動を行う。



第5回講師
伊藤 啓一氏

株式会社舞台ファーム
専務取締役

前職は楽天野球団の初年度メンバー。マーケティングや広報、試合日程やチケットの管理、ファンクラブの運営など責任者として数多くの事業をローンチした。現在は国内最大級の農業法人にて多様な事業展開を差配する。



第5回講師
松本 謙氏

株式会社ファーマーズ・フォレスト
代表取締役社長

農場経営と直売流通、レストラン、温泉宿泊施設等を持つ、46haのファームパーク併設の道の駅うつのみやろまんちっく村や、アンテナショップ等の特産品販売流通事業を経営する経営実務家。地域資源の総合プロデューサーで「農業と食のエンターテインメント」を提案する地域商社。

講師等の紹介



第6回講師
榎 かおる氏

株式会社良品計画 食品部
食と農担当 カテゴリーマネージャー

無印良品の食品やcafé & MealMUJIにおいて、素材や地域を起点とした商品の企画・調達担当。全国津々浦々で見つけた素材や作り手とのつながりを、無印良品の視点で編集・商品にしていく。また自社の宿泊事業や産直事業などとも連携し、食品だけでなく、景観や文化など農業が生み出す魅力を点ではなく線・面で伝える活動へ展開。



第7回講師
鈴木 裕己氏

株式会社プロ・スーパー 代表取締役

産地周辺の限られた地域でしか流通しないことで日の目を見ない資源「マイナー魚」や漁獲調整や売れないからという理由で海洋投棄されてしまう「未利用魚」を広域流通させることで、その魚本来の価値に見合った価格形成を生産者と手を取り合って確立するビジネスを創出。現在、事業者経営支援、家業塾開塾など多方面で活躍。

【事務局ファシリテートスタッフ】



食Pro.事務局
長谷川 潤一

(一社)食農共創プロデューサーズ
代表理事

6次産業化や農山漁村発イノベーション、農商工等連携、地方創生などに関わり、食農ビジネスの創出を基盤に地域活性化における戦略指南等を進めるとともに、食Pro.制度を構築。地域の食農ビジネス等に係る人材育成、人材発掘、人材連携などを推進する。



食Pro.事務局
藤井 貴之

(一社)食農共創プロデューサーズ
事務局長

食Pro.事務局長のほか、農業者の経営支援、事業承継に関するアドバイス、就農サポートなどに加え、地域活性化プロジェクトの戦略立案、地域の食材を利用した食品の開発、販路開拓、場づくりなどを進めるバックフォローのスペシャリスト。

問い合わせ先

食Pro.事務局 プロ養成講座

一般社団法人食農共創プロデューサーズ

担当：柄澤（からさわ）、志賀（しが）、藤井（ふじい）

E-mail : info@facp.or.jp TEL: 03-5961-8124 (平日10:00~12:00、13:00~16:00)